

平成 28 年播種（平成 29 年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔2 月 10 日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要

・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・排水対策：暗渠及び弾丸暗渠
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)

- ・播種期：10 月 19 日
- ・播種量：0.9 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：尿素燐加安 777 号
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)
- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目（前作水稻）

2. 気象概況〔12 月中旬～2 月上旬〕（表 1，図 1～3）

- ・平均気温は，1 月中旬を除き平年より高く推移した。
- ・日照時間は，平年並みであった。
- ・降水量は，平年より少なかった。
- ・期間中は高温傾向で推移し，積雪があっても融雪が早く，夜間でも降雨が観測される日があった。

表1 気象経過(10月上旬～12月中旬) 古川AMeDAS

	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
12月中旬	2.5	0.0	23.0	181%	31.0	87%
12月下旬	2.8	1.3	1.0	7%	41.8	99%
1月上旬	2.7	2.3	11.5	78%	40.1	103%
1月中旬	-1.5	-1.3	4.5	35%	34.8	85%
1月下旬	0.9	1.3	3.5	25%	61.2	126%
2月上旬	1.4	1.5	12.0	100%	36.8	77%

注1) 古川AMeDAS日別データから算出

注2) 平年差(比)はAMeDAS平年値との比較

3. 生育概況

1) 2 月 10 日現在の生育状況（表 2）

- ・草丈は，大麦・小麦とも平年より短い。
- ・葉数は，大麦・小麦とも平年並み。
- ・茎数は，大麦では平年並み～やや多く，小麦では平年並み～やや少ない。
- ・大麦・小麦ともに，播種期から 12 月前半まで低温傾向で生育量が小さかったが，12 月後半以降，高温傾向で推移したため，草丈を除き平年並みの生育量に回復した。

3) 幼穂分化状況（表 3）

- ・大麦の幼穂長は「シュンライ」で約 1.5 mm，「ミノリムギ」で約 1.3mm と平年より長く，平年より 13～21 日早く幼穂形成始期に達した。
- ・小麦の幼穂長は「シラネコムギ」と「ゆきちから」が約 0.4mm，「あおばの恋」が約 1.0mm で，いずれも平年並みであった。「あおばの恋」は平年より 5 日早く幼穂形成始期に達した。

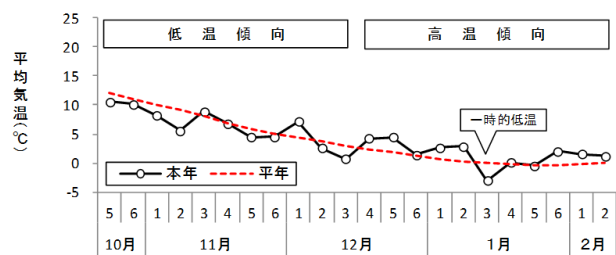


図1 半月別気象経過(平均気温, AMeDAS(古川), 2016~2017年)

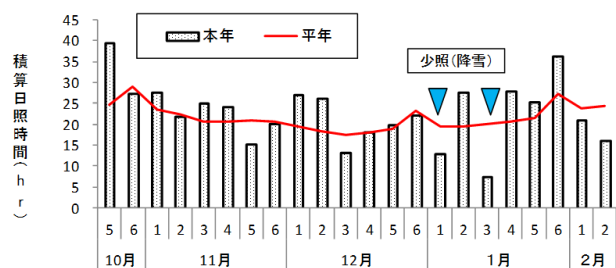


図2 半月別気象経過(積算日照時間, AMeDAS(古川), 2016~2017年)

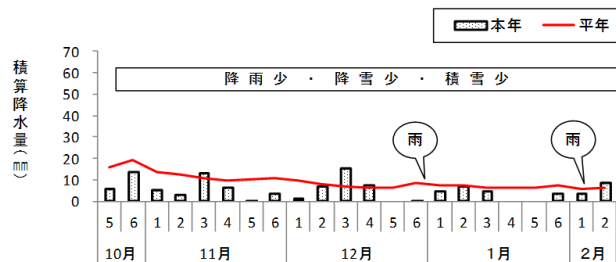


図3 半月別気象経過(積算降水量, AMeDAS(古川), 2016~2017年)

表2 生育状況(2月10日現在)

品種	草丈			茎数			葉数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
シュンライ	9.7	81	88	787	106	100	5.4	-0.1	0.3
ミノリムギ	9.0	74	76	945	119	117	5.3	-1.5	0.0
あおばの恋	12.4	76	91	645	87	88	5.2	-0.4	0.1
シラネコムギ	12.3	96	96	841	91	108	5.5	-0.9	0.1
ゆきちから	9.5	83	81	721	91	96	5.2	-0.9	-0.2

注1) 平年比(差)は平成25年播種を除く過去5か年の平均値との比較。

2) 越冬前目標生育量: 葉齢4~5枚, 分けつ1~2本, 茎数400~500本/m²

表3 幼穂分化状況(2月10日現在)

品種	幼穂長			幼穂 分化 程度	幼穂形成始期		
	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)		本年 (月日)	前年 (月日)	平年 (月日)
シュンライ	1.55	0.03	0.46	VIII~IX前	1/26	1/27	2/8
ミノリムギ	1.34	-0.08	0.38	VII後~VIII	2/1	2/4	2/22
あおばの恋	1.04	-0.54	0.06	VII前~VIII	2/6	12/26	2/11
シラネコムギ	0.39	-0.16	0.02	V未満	—	3/6	3/18
ゆきちから	0.37	-0.17	-0.03	V未満	—	3/8	3/21

注1) 平年(差)は平成25年播種を除く過去5か年の平均値との比較。

2) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

3) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期		小穂分化期			穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X	
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0	

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはVII期は「前・後期」に、IX期は「前・中・後期」に区分される。

平成28年播種(平成29年産)麦類生育調査ほ生育状況[2月10日調査結果]

表4 麦類生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換 年数	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	条間 (cm)
大河原	シュンライ	大河原町	18	暗渠	10月24日	1.0	30
	ミノリムギ	大河原町	1	暗渠	10月24日	1.0	30
仙台	シュンライ	大和町	15	本暗渠, 明渠	10月末	0.8	28
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	3	暗渠	10月15日	1.0	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	3	暗渠, 明暗	10月14日	1.2	22.9
	ゆきちから	涌谷町	1	暗渠	10月28日	1.2~1.3	22.2
登米	あおばの恋	登米市豊里	15	本暗渠, 弾丸暗渠	10月27日	0.9	24
石巻	シュンライ	石巻市桃生	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月21日	1.0	30
	ミノリムギ	石巻市桃生	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月20日	1.0	30
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	11月5日	0.9	22.5

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表5 麦類生育調査ほ 生育状況(2月10日現在)

担当普及 センター	品種名	実施場所	播種期 本年 (月/日)	草丈			茎数			幼穂長 (mm)
				本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	大河原町	10/24	11.3	104	143	615	95	178	1.5
	ミノリムギ	大河原町	10/24	11.0	104	152	437	93	148	1.3
仙台	シュンライ	大和町	10月末	—	—	—	159	31	35	0.8
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/15	12.5	92	118	895	56	105	0.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10/14	9.1	89	110	1085	92	198	0.1
	ゆきちから	涌谷町	10/28	9.8	85	110	658	110	196	0.1
登米	あおばの恋	登米市豊里	10/27	11.8	—	—	590	—	—	1.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生	10/21	10.4	71	89	277	65	55	0.9
	ミノリムギ	石巻市桃生	10/20	12.5	73	109	618	119	129	1.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	11/5	11.3	56	76	316	40	31	0.1

注1) 出芽良否: 発芽率80%以上を良, 60%以下を不良, その中間を中とする。

注2) 仙台「シュンライ」は, 平成25年播種から実施場所が変更となったため, 平年値は過去3か年の参考値。本年の草丈は鳥害による欠測。

注3) 美里「シラネコムギ」の平年値は, 平成24年播種を除く過去4か年の参考値。

注4) 登米「あおばの恋」は, 本年から実施場所が変更されたため, 前年値及び平年値はない。

生育状況等に関するコメント

大河原

- ・生育は順調に進み, 「シュンライ」, 「ミノリムギ」とともに, 草丈, 茎数は平年を上回っており, 生育ステージも幼穂形成期に達した。
- ・雑草の発生も少なく, 病害の発生等も見られない。

仙台

- ・草丈については鳥害により地上部がほぼ損失していたため調査不能であった。
- ・茎数は過去15年平均^(注)の3割程度。幼穂長は過去15年平均^(注)と比較し同等であった。

大崎

- ・生育は概ね良好。草丈は平年比118%, 茎数は平年比105%。病虫害, 雑草の発生なし。
- ・鳥類による葉の食害はみられない。

登米

- ・調査区の白鳥害が著しく, 害を受けていない地点との生育差が大きかったため, 新たに害を受けていない地点に区を設置して調査を実施した。
- ・普及センター調査ほとして調査した過去3か年の平均(草丈10.1cm, 茎数522.9本)^(注)に比べやや生育が進んでいる。

美里

- ・両品種(「シラネコムギ」, 「ゆきちから」)とも生育は良好。
- ・「ゆきちから」ほ場では, 調査区のポール付近を除いて, ほ場全面で鳥害がみられる。
- ・「シラネコムギ」ほ場では, 前回鳥害がみられたが, 回復がみられる。

石巻

- ・前回調査では10月下旬~11月下旬までの低温の影響で生育は遅れていたが, その後12月以降は高温で経過したことから生育が進み, 「シュンライ」, 「シラネコムギ」は平年を下回ったものの, 「ミノリムギ」では草丈, 茎数, 幼穂長は平年を上回った。

(注) 仙台「シュンライ」は平成25年播種から, 登米「あおばの恋」は本年度から, 調査ほが変更されたため過去5か年の平年値はないが, 各普及センターが独自に蓄積した地域の平均と比較評価している。